

琉球大学学術リポジトリ

沖縄における道路および道路交通の発達(資料)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学工学部 公開日: 2012-03-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 上間, 清, Uyema, Kiyoshi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/23867

沖縄における道路および道路交通の発達 (資料)†

上 間 清

Historical Development of Roads and Road Transportation in Okinawa

Kiyoshi Uyema

It is a vital need of today to establish a comprehensive highway transportation plan for the future needs in highway use in a community regardless whether it is a city or a nation. Such a comprehensive plan calls for good understanding of historical development of highways and their use in the past before it being followed by a new plan for the future.

To the author's knowledge, however, it seems that there has not been a study which dealt with the development of roads and road transportation in the Ryukyus as its main subject.

With such understanding the author and his cooperators have started a study under the title given above. The study is not complete and still going on.

Given in the following as a reference are the contents of the study performed and the chronological list of events in the development of roads and road transportation in Okinawa.

沖縄の道路および道路交通の発達に関して、これまでまとまった歴史的な取扱いをなした研究がなかったように思う。著者およびその協力者らは、道路交通問題が社会的にクローズアップされ重要視されている今日、その実質の理解のためには、過去の道路および道路交通の発達および意義についても知る必要のあることを認めた。そのために表題のような研究を開始した。

第二次大戦前の昭和年代における調査の不十分さ、また記録についての実証的な、第二段階の調査もこれからという現状であるので、この紙面においては詳文の発表を控え、資料として、研究項目と道路交通発達についての知られた範囲の年表を以下に記した。

A 研究項目について

1. 古代から廃藩置県までの道路交通
 - (1) 古代の道路交通
 - (2) 三山統一後の道路交通

† 受付：1968年10月31日

* 琉球大学理工学部土木工学科

- (3) 王朝時代の道路交通
 - (4) 廃藩置県の頃の道路交通
 - (5) 風水説
2. 廃藩置県以降大正時代までの道路交通
- (1) 時代の概観
 - (2) 明治時代の道路および道路交通
 - (3) 大正時代の道路交通
 - (4) 鉄道と軌道：その沿革
3. 昭和年代の道路交通
- (1) 第二次大戦前までの道路交通
 - (2) 第二次大戦後の道路交通

B 道 路 交 通 年 表

西 歴 (年)	邦 歴 (年)	事 項
1451年	永享23年	国相懐機が長虹提を築く。
" "	" "	首里那覇間における道路改修工事。
1498	明応7年	円覚寺放生池石橋架橋。
1512	永正10年	一日橋が完成。
1522	嘉清元年	真玉橋架橋。
1543	天文12年	参の御嶽への参道の建設。
1620	元和6年	浦添城に通ずる道路改修。
1654	慶安7年	首里の石辻に中路を開き始める。
1658	明暦4年	平良大那の道路を改修。
1673	延宝元年	首里城の北に新道開設。
1742	寛保2年	法司官坐干加龍随行。
1750	寛保10年	始許乗加龍用足干老人病人。
1782	天明2年	准新築那覇東村河辺道路。
1883	明治16年	明治橋架設。
1884	明治17年	那覇～首里間道路改修、石畳から砂利道へ。
1885	明治18年	首里～与那原間開通し1里4町。
1886	明治19年	那覇～与那原街道開通。
1894	明治27年	沖縄鉄道株式会社、鉄道の計画(出願したが却下)。
1895	明治28年	軌道条令制定。
1897	明治30年	佐敷街道、糸満街道開通、与那原街道改修。
1903	明治36年	人力車、荷車の輸入。
1906	明治39年	沖縄起業株式会社鉄道計画出願、却下。

西 歴 (年)	邦 歴 (年)	事 項
1908年	明治41年	県道の改修はじまる。
1909	明治42年	府県制施工，道路費国費より県費に移管。
1911	明治44年	県会にて軽便県営鉄道敷設を建議，沖縄電気軌道株式会社設立，糸満街道を県道に認定。
1914	大正3年	与那原鉄道開通，上記軌道会社一部営業開始，県鉄道現業員練習。
1915	大正4年	那覇～名護間道路開通，明治橋（南，北）完成
1916	大正5年	沖縄電気軌道株式会社が沖縄電気株式会社に権利を譲渡，沖縄馬車軌道株式会社営業開始（与那原～泡瀬）。
1917	大正6年	那覇～首里間電車開通。
1918	大正7年	糸満馬車軌道株式会社営業開始（垣花～糸満），那覇～名護間バス開通。
1922	大正11年	嘉手納鉄道線竣工（13哩9分）。
1924	大正13年	糸満鉄道線開通（9哩3分）。
1945	昭和20年	沖縄諮詢委員会設立。工務部新設。
1946	昭和21年	沖縄民政府創立，工務部に土木課，陸運課設置。沖縄人による陸運業務開始。
1947	昭和22年	牧港モータープールの設置，民管理全車輛の重修理工場となる。民政府直営バス業務開始，GMC 2 t 車20台の使用許可。
1949	昭和24年	国産貨物車輸入，沖縄合同トラック株式会社設立。
1950	昭和25年	沖縄バス株式会社，協同バス株式会社創立，軍委託車輛の返納開始，首里那覇間市営バス業務開始。
1951	昭和26年	沖縄群島条令第19号（沖縄陸運条令）交付，沖縄郡島民政府令第1号（沖縄郡島陸運条令施工細則）の公布。

おわりに，上記年表作成のため，多くの文献調査に協力した高江州義博，宮城盛夫，砂川昌逸および神村盛喜の四君に紙面をもって謝意を表す。